

令和3年度若手優良技術者実施業務

(測量・地質・補償関係コンサルタント部門)

業務名：鳥取県砂防関係施設長寿命化計画点検業務委託(砂防その4)(国補正)

受託者：鵬技術コンサルタント株式会社

主任技術者：竹下 明廣 現場代理人：芝崎 拓也 照査技術者：山下 竜司

【業務位置】



※この地図は、国土地理院の承認を得て作成した管内図(承認番号：平30中横、第33号)の一部を抜粋して作成しました。

【点検状況】



【調査結果一覧表】

所管 事務 所を記 入	管理機構	設備名	ユニット名	前 回 点 検 結 果	今 回 点 検 結 果	健全度評価が変わった理由	ユニット延長 (m)	修繕等の優先順位	
								合計 点 数	修 繕 等 の 優 先 順 位
中部	洗川	8/150 床面工	ユニット8	B	C2	砂防上、砂防体中央部後部の砂防体変形レベルが認められたため。	40	6	270
中部	洗川	8/200 床面工	ユニット9	B	A	砂防体側、左側にて土留工と水防体等が認められたため。	115	6	270
中部	洗川	8/300 床面工	ユニット10	B	A	砂防体側、奥部にて砂防体崩壊が認められたため、撤去されたため。	55	6	270
中部	加勢蛇川	2/815 床面工	ユニット6	B	C2	砂防上、護岸ブロック崩壊に連動する砂防体変形レベルが認められたため。	500	13	188
中部	加勢蛇川	4/980 床面工	ユニット10	B	C2	砂防上、土留工の砂防体変形レベルが認められたため。	1080	10	197
中部	加勢蛇川	6/980 床面工	ユニット14	B	C2	護岸ブロック崩壊が認められ、護岸下の砂防体崩壊が認められたため、撤去されたため。	650	7	256
中部	加勢蛇川	8/304 床面工	ユニット20	B	C2	砂防上、土留工の砂防体変形レベルが認められたため。	254	1	317
中部	加勢蛇川	8/533 床面工	ユニット22	B	C2	護岸ブロック崩壊が認められ、土留工の砂防体変形レベルが認められたため。	153	0	354
中部	加勢蛇川	9/140 床面工	ユニット25	B	C2	護岸ブロック崩壊が認められ、護岸下の砂防体崩壊が認められたため、撤去されたため。	226	0	354
中部	加勢蛇川	10/360 床面工	ユニット35	B	C2	砂防上、護岸ブロック崩壊に連動する砂防体変形レベルが認められたため。	97	1	317
中部	加勢蛇川	10/784 床面工	ユニット38	B	C2	砂防上、護岸ブロック崩壊に連動する砂防体変形レベルが認められたため。	104	6	270
中部	加勢蛇川	11/503 床面工	ユニット43	B	C1	砂防上、護岸ブロック崩壊に連動する砂防体変形レベルが認められたため。	225	0	354

- 委託場所：中部総合事務所県土整備局管内
- 工 期：令和3年3月17日～令和4年1月31日
- 委託概要：本業務は、中部県土整備局の管理する砂防設備において、過年度調査で「経過観察」と評価(B評価)または「対策不要」と評価(A評価)された溪流の再点検を行い、変状の進行状況を確認するとともに、各点検様式の更新を実施したものである。
- 委託金額：23,188,000円



主任技術者
竹下 明廣(39歳)

本業務での点検溪流は延長50.9km(198ユニット)と膨大であることから、円滑な業務遂行を図るため、資料の精査及び点検溪流の実延長算出と同時に修繕の優先順位が高い溪流から点検した。

各点検様式を作成し、前回点検の健全度を比較し変状の更新理由がわかる一覧表を作成した。

また、健全度評価が「C1」となったユニットについて修繕の優先順位を設定した一覧表、近隣の道路から修繕箇所までの概略の仮設道ルート案を作成した。

今後も技術及び知識を習得し、業界また、地域に貢献していきたいと思っております。

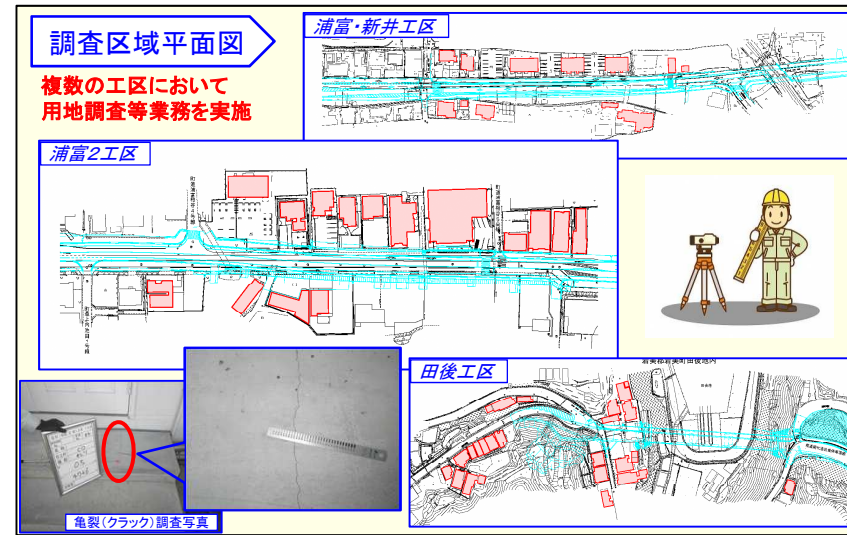
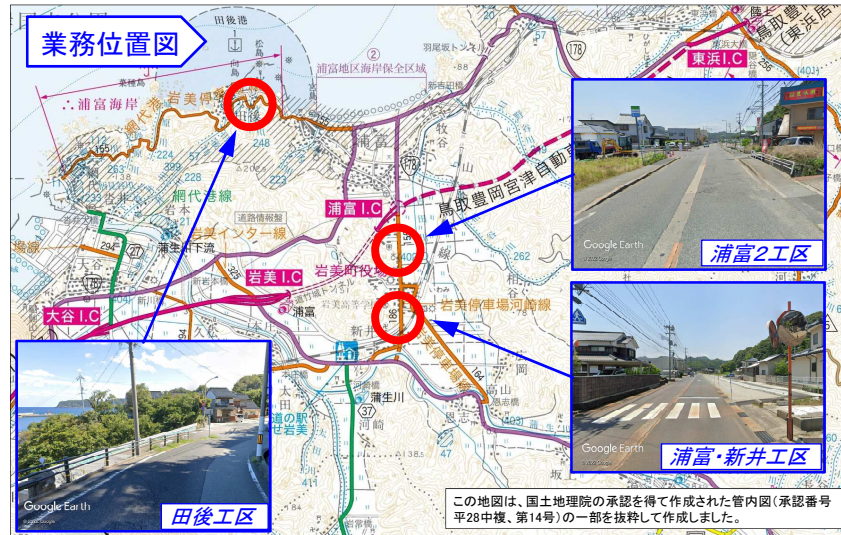
令和3年度若手優良技術者実施業務

(補償関係コンサルタント部門)

業務名： 県道網代港岩美停車場線（浦富2工区）外道路改良工事
「建物等調査及び地盤変動影響調査業務委託」（交付金）

受託者： 株式会社大地企画

主任担当者： 大久保 慶



- 委託場所： 岩美郡岩美町浦富外
- 工 期： 令和3年6月2日 ～ 令和4年3月8日
- 委託概要： 本業務は、県道網代港岩美停車場線（浦富2工区）、同（田後工区）及び県道岩美停車場河崎線（浦富新井工区）において、地盤変動影響調査（事前調査）を行ったものである。また、県道岩美停車場河崎線（浦富新井工区）及び同（新井工区）においては、用地買収に伴う物件移転補償に向けた建物等調査及び算定業務等を行った。

(地盤変動影響調査 49棟、用地建物等調査及び算定 3軒 ほか)

- 委託金額： 22,982,300円



主任担当者
大久保 慶(39歳)

当業務は、対象の工区が複数あり、また、用地調査及び算定並びに地盤変動影響調査を併せたものであったことから、対象物件数の多さがネックでした。物件毎の作業条件を念頭に置いたうえ、物件所有者の方々には失礼のないように業務を進める必要がありましたので、その点は作業を小分けして分担することで対応しました。特に、工程管理の面では、一人で隅々まで考えるのではなく、各担当の考えを踏まえて全体を組み立てるようなことで、効率的に業務を進められたと思います。また、担当者間での情報の共有についても漏れの無いよう注意しました。

まだまだ未熟な自分と向き合う日々ですが、業務でつまづいた点や悩んだことを後輩育成の糧としつつ、チームで一丸となって成長していきたいと思っています。

令和3年度若手優良技術者実施業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

業務名: 県道鳥取鹿野倉吉線(河内2工区外)

道路災害防除工事「設計業務委託」(国補正)

受託者: 株式会社 山陰都市開発研究所

管理技術者: 横川大輔 照査技術者: 小田達也 担当技術者: 浅井豊年, 加藤朗, 森尾章宏

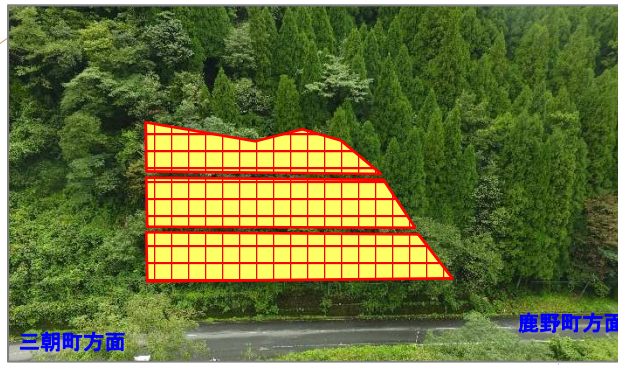
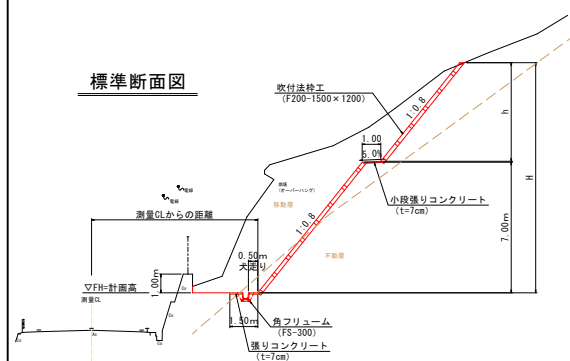
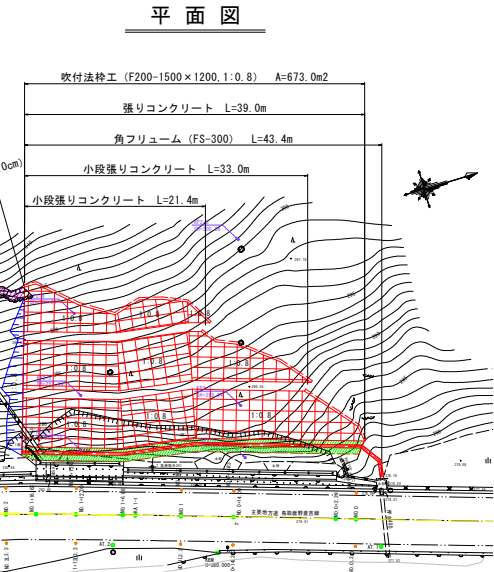
【河内2工区 計画概要】

■計画内容

鳥取市鹿野町から三朝町に続く県道鳥取鹿野倉吉線が本業務の計画対象路線であり、三朝町との町境付近に位置する道路際の斜面が計画位置となっている。

当該計画地の斜面は、崩壊の可能性がある不安定な状態であった。これに対して、斜面の安定を図り、崩壊を防ぐための対策施設の設計を行うことが本業務の目的である。

斜面を安定させるために、現在の斜面を切直す切土工を計画し、吹付法枠でのり面を保護する計画を検討した。



■委託場所: 鳥取県鳥取市鹿野町河内

■工期: 令和3年12月27日～令和4年3月25日

■委託概要: 本業務は、県道鳥取鹿野倉吉線において、道路利用者の安全確保を目的とした道路災害防除事業に伴い、斜面崩壊対策の詳細設計を実施したものである。

■委託金額: 7,097,200円

■業務に当たった問題点・解決策・工夫した点

斜面安定工の設計にあたり、不安定土塊の排土を目的として切土工を計画した。この切土計画にあたって、標準勾配の適用を考えたが現地の斜面状況を鑑みると適用に疑義が生じた。そこで、斜面安定解析を実施して、計画切土勾配を適切に設定することとした。このように、計画の妥当性及び適切性を追求することが技術者としての責務だと考え、業務の履行にあたったが、工期が短いこともあり、苦戦を強いる業務内容であった。その中でも、発注者と意思疎通を図ることで手戻り防止に努め、また、業務にあたっての社内の管理体制を構築することで工期内により良い成果を納めることができた。

■コメント

社会資本整備、災害対応などを担う土木の仕事は、地域の皆様の安全・安心確保、利便性の向上、生活の質の向上などに寄与するとても重要な仕事だと感じます。その分責任も大きく、苦しいことも多いですが、とてもやりがいのある仕事です。